



国民の森林・国有林

# 広報

か な ぎ

津軽森林管理署 金木支署

No 180

2005.7.28

## 「しじみの森」育樹祭

## 「遊々の森」協定締結



協定書に調印する工藤組合長（左）と岡崎支署長

7月6日、五所川原市十三漁業協同組合（工藤伍郎組合長）では「しじみの森」で育樹祭を開催しました。しじみの森は、昨年、「いつまでも豊かな湖を守りシジミ資源の確保を図る」ことを目的に十三湖上流の国有林にクリ等を植栽して造成したものです。

育樹に先だって、同組合が、この「しじみの森」を利用して子ども達にいろいろな体験をさせたいとする考えから、国有林のフィールドを活用していろいろな体験してもらおう制度「遊々の森」の協定締結が行われました。協定は、組合員や小・中学校生徒等が、下刈りの実施、クリやミズナラの木の実ひろいなどを通して、自然を楽しみながら遊び学ぶ内容になっています。

当日は大雨となり、子ども達は参加できませんでしたが、代表者による記念植樹が行われ終了しました。



雨合羽を着て開会式  
工藤組合長挨拶

## 安全大会を開催

国有林野事業の「油断のすき間に事故が待つ慣れた作業になお注意」をスローガンに実施された安全週間最終日の7月7日、平成17年度の安全大会を開催しました。

支署長の挨拶に続いて、「労働災害は絶対発生させないという決意の下、局・署・現場等が一体となって適時適切な安全諸対策の展開を通じて、職員一人ひとりが主体的に労働安全活動に参画し、より実践的な実効ある安全管理の積極的な推進をお願いする」とした森林管理局長メッセージが読み上げられました。

大会は、この後安全標語入選作品の発表と表彰、警察署・消防署による交通安全講話と救急法の講習が行われ、最後に、職員代表が「労働災害の絶滅」を力強く宣言して、無災害の誓いを新たにしました。

17年度安全標語入選作品は、次のとおりです。

### 優秀賞

歩き出す 一步一步に危険が潜む 危険予知して安全作業

山口 善三

### 入選

急がず慌てず足元を 一步一步の安全確認 今日も一日ゼロ災害

葛西 伸彦

ゼロ災は 基本動作の繰り返し 危険予知の積み重ね

今 優子

ちょっと手抜きで 増す危険 手順守って無災害

三和 章治

仕事に慣れて 増す油断 初心に戻って無災害

藤田 斉



消防署による救急法の実技指導

## 私の守備範囲

- こんなところです -

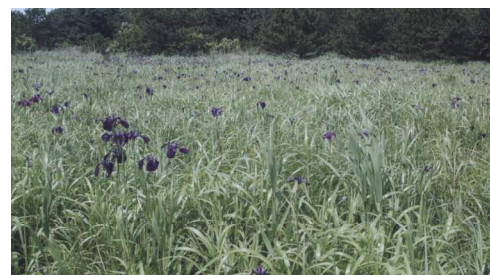
今泉森林事務所

森林官 勝浦 祐樹

いよいよ夏本番！キビシイ暑さが続き、タツプリ汗をかくこの季節。我が家では4月29日に産まれた次女、碧空（そら）のアセモと夜泣きと風邪・・・三つ巴バトルロイヤル勃発。何か最近、昼より夜の方が疲れるカンジ～？（ちなみに家族構成は、妻・陸子、長女・七海、次女・碧空・・・お気づきでしょうか？陸・海・空の自衛隊一家です。）

さて、大分無駄話をしてしまいましたが、「私の守備範囲」は今泉（薄市地区）で、管内には水土保持モデル林（複層林）やヒバ天然林施業試験林、複層林施業指標林等があり、林業技術の研究・開発が盛んな所です。内容について少し触れたいところですがスペースの関係上、次の機会にしたいと思います。（その機会がないことを切に願う・・・）

最後に、この間、蟹田町でタケノコを採っていた人が山に迷って反対側の今泉に下りてきました。その人を車で送っていきましたが、一緒に来ていた家族の方が大泣き。私は思いました、家族に心配かけるような山菜の採り方はいけねえなあ、いけねえよ・・・皆さんも気をつけましょう。



## 素材7月の公売結果

- ・ 7月8日 青森県木材協同組合  
ヒバ丸太33口（627本）、約297 m<sup>3</sup>を出材し、落札は14口、42%となっています。
- ・ 7月21日 青森県森林組合連合会  
ブナ丸太6口（35本）、約15 m<sup>3</sup>を出材し、全落となっています。
- ・ 7月21日 青森県木材協同組合  
ヒバ丸太42口（1329本）、約509 m<sup>3</sup>を出材し、落札は28口、67%となっています。
- ・ 7月22日 秋田県銘木センター  
ヒバ丸太15口（15本）、約18 m<sup>3</sup>を出材し、全落となっています。